



今回のニュースの内容

共通

- 1.2019年度 お役立ちセミナー開催のお知らせ（広報班）
- 2.住まいのまちなみコンクールの総会の報告（総務班）
- 3.会計班からの連絡事項（会計班）
- 4.2019年度 緑地・建築協定運営委員会の懇親会について（総務班）

緑地ニュース

- 1.共同管理班からのお知らせ
 - 1-1.2019年度 樹木管理講習会実施のお知らせ
 - 2-1.みかげ石の高圧洗浄作業について

建築ニュース

- 1.総務班からの連絡事項
 - 1-1.隣接地から建築協定への加入のお知らせ
- 2.事前確認班からの連絡事項
 - 2-1.建築工事の事前届出の受付状況



共通ニュース

1. 2019年度 お役立ちセミナー開催のお知らせ（広報班）

この夏の猛暑は、庭の木々や草花だけではなく、手入れをする私達にとっても過酷なものでした。9月に入って、ようやく秋の気配が感じられる日々となりました。

緑豊かな染井野ですが、除草や剪定などの作業に仕事柄なかなか時間が取れない方、ガーデニング作業にたいへん骨を折っていて負担感が辛いという方も多くいるのが現状です。雑草対策も兼ねたさまざまな対策と知恵、又、今一番多く施工されている外装工事についての対策と知識。庭や周囲とのバランスのとれた外構など、庭と外構のリフォーム事例のあれこれを、施工



費用、施工期間、業者選考や自己施工の場合の留意点など併せて紹介させていただきます。

美しい環境を維持することと、管理の省力化との両立を考えた庭と外構のリフォームについてお話しする予定です。

- 日 時： 10月27日（日）10:00～12:00
- 場 所： 臼井南中学校 体育館1F 柔剣道場
- テーマ： 「ガーデニングの工夫や花木の手入れ」&「郊外住宅地を中心とした街並みの変遷」
- 内 容： ・ガーデニングの工夫や花木の手入れ
・郊外住宅地を中心とした街並みの変遷
- 講 師： 林 好治 氏（林庭園設計事務所代表）
浅川 潔 氏（コミュニティデザイン代表）
- 対 象： 染井野 S1,S2 地区にお住まいの方
- 定 員： 60名
- 参加費： 無料
- 申 込： 別途回覧にてご案内します。

2. 第11回すまいのまちなみネットワーク総会の報告（総務班）

佐倉染井野緑地協定運営委員会は、財団法人住宅生産振興財団が主催する「第8回住まいのまちなみコンクール（平成24年度開催）」で、住民の意欲と専門家のサポートによって設（しつらえ）と品格のあるまちなみを維持していることが評価され「住まいのまちなみ優秀賞」を受賞し、これを契機に「すまいのまちなみネットワーク」の会員となっております。

2019年7月2日（火）「東京タワー」を身近に控えた絶好のロケーションに位置するホテルメルパルク東京において一般財団法人「住宅生産振興財団」主催による「第14回住まいのまちなみコンクール表彰式・第11回すまいのまちなみネットワーク総会」が実施されました。佐倉染井野緑地協定運営委員会からは、江澤緑地会長、樁総務委員の2名が参加、全国から53団体、130名の規模で開催されました。

住まいのまちなみコンクールの国土交通大臣賞に柏ビレジ自治会（千葉県柏市）、住まいのまちなみ賞に東川町中央自治振興会（北海道東川町）、東松島市あおい地区会（宮城県東松島市）、御池台校区連合自治会（大阪府堺市）及び緑の回廊まちづくりを推進する会（埼玉県さいたま市）の4団体の計5団体がめでたく受賞されました。（写真右）

受賞後には、受賞団体によるプレゼンテーションが実施され、各自治会の独自の取り組みについての発表を伺うことが出来ましたので、ここで一部紹介させていただきます。

まず、国土交通大臣賞の柏ビレジについては、1981年から入居を開始した総区画数1600戸のニュータウンで、オールドタウン化が進行し、空



き屋率が3%台に現在とどまっており、自治会組織の組織体制と改題への取組みが高く表されていました。「街の景観は良い街に重要なファクター」という理念のもと、町全体にアイビーとシンボルツリーを主とした植栽を配し、低層で構成される住宅の外観を赤いレンガで統一して美しいまちなみを形成しています。タウン内には2つの大規模な公園と5つの小公園を沿道で結ぶ等のサービス空間の価値をととも重視しています。そうした思いを建築協定や緑地協定をもとに育ての親である自治会が守っています。自治会は役員40名でここ私たちと同様に「全員参加型」の組織で構成されています。自治会はNPOやボランティア団体を含む多数の団体と連携しており環境維持やシニアクラブなどコミュニティ活動も活発に実施している。また、オールドタウン化の影響等でスーパーマーケットの撤退、池の氾濫などネガティブな事態も経験しつつ、コンビニエンスストアの誘致を実現、近郊にある東京大学や筑波大学と連携してのシンポジウムやワークショップを開催し課題の洗い出しや論点整理、活動の優先順位等を行うとともに、助け合いや住環境保全のための活動を続けて、これから全国の街が迎える課題を先取りして解決しようとしてきた街(柏ビレジ)です。私たちもこの街から多くのヒントを得られると思いました。(写真下)



国土交通大臣賞

団地名：柏ビレジ地区（千葉県柏市）
団体名：柏ビレジ自治会

開発者が計画した美しいまちなみを住民が育むとともに、年月を経たニュータウンの様々な課題に前向きに取り組んでいる。

次に、住まいのまちなみ賞の東松島市あおい地区会(宮城県東松島市)におかれましては、あの8年前の東日本大震災で今まで住み慣れた土地を集団移転等で再び戻ることが出来ない状態からのまちづくりで極めて多くの課題を克服して新しいまち(あおい地区)を完成された会長を初めとしたスタッフメンバーのちからには驚かされました。災害地特有の防災集団移転と災害公営住宅の受け皿として、わずか3カ月で公共基盤整備計画や土地利用計画案を決定することが求められ、居住者参加型のプロであるコーポティブハウスを手掛けるコンサルタントがコーディネーターとなることで、行政側の案に縁道の追加、公園の位置変更などを認めさせる一方、住民側は安全でゆとりのあるまちづくりを目指して道路沿い幅1メートルの宅地部分を公開緑地とするなど、互いに守るべき約束事として独自の「街並みルール」を策定し、3カ月の間に住民同士が部会やワークショップで集中的に論議を重ね、現在も自治会活動は全員参加型を維持していることです。(写真下)



住まいのまちなみ賞

団地名：あおい地区（宮城県東松島市）
団体名：東松島市あおい地区会

震災復興で待たなしの計画が進められる中、住民の意見を集約して計画に反映し、住みやすいまちづくりを目指している。

緑の回廊まちづくりを推進する会(埼玉県さいたま市)においては、住宅密集地域の必然性の高い防災まちづくりの視点から再生しようとする試みの活動を挙げられました。大規模地震の火災延焼が起きた場合に、避難路をどう確保するのか、隣棟間のスキマを通して必ずどこかに逃げられるように万年塀やブロック塀の耐震対策や除去などの「スキマ安全ルールづくり」を検討し自治会に提案しようとしています。モデル地区を決め現実すれば全国に普及する可能性もあり出来る場所から取組む姿勢が評価されました。これら受賞団体の活動には将来につながる希望があり、強い思いがその活動を支えている姿勢を目の前で確認できたことは、大いなる成果だと思いました。(写真下)



住まいのまちなみ賞

団地名：前地1、2丁目地区（埼玉県さいたま市浦和区）
団体名：緑の回廊まちづくりを推進する会

住民が主体となって防災計画策定などの課題に取り組みながら、避難路の確保など安全なまちづくりを目指している。

また、国土交通省からは、住宅性能研究官・長谷川 洋氏の講演「住宅地の再生・マネジメントと担い手を考える」と題し、時間軸での住宅地や居住者の特性等の変化に応じて、住宅地での暮らしをより安心・快適にしていくための再生やマネジメントが重要ということ、また再生・マネジメントの様々な取り組み事例を紹介するとともに、再生・マネジメントを進めていくための担い手のあり方と課題について話されました。

総会終了後には懇親会ということで、それぞれの自治会の役員の方々との有意義な情報交換ができ、今後の役員をやっていくうえでの資となりました。（写真右）

人口減少社会の中、まちの価値の落ちない、選べる地域づくりがこれから求められていくなか、「住まいのまちなみ」は、私たち地域の方々の積極的な維持管理、運営することで豊かな暮らしの場へと育まれていくと思います。



緑地総務・椿 慶夫

3. 会計班からの連絡事項（会計班）

年会費に銀行振込を利用されている方へ：

年会費の払い込みに際し、やむを得ない場合を除き自動引き落としの設定をお願いいたします。毎年、3月5日に次年度の会費が自動引き落としとなります。申請書をご要望の方は当該ブロック役員にご連絡ください。正確かつ迅速な会費の徴収にご協力を願います。

4. 2019年度 緑地・建築協定運営委員会の懇親会について（総務班）

本年度の新役員が5月5日から事実上スタート致しました。勿論お互い顔も名前も知らないことから始まりました。各班のメンバーすらまだ分からない不安なことばかりですが、1年間やってよかったと思えるようにお互いに力を合わせてそれぞれの役員並びに業務をやっていこうということで、まずは、何事にも一杯と懇親会を呼びかけました。降り注ぐ小雨の中、集まって下さいました役員の方々ありがとうございました。いつもの集会所の会議室とは違った場所居酒屋での役員会同。役員皆様方の個々の親睦を深める場になったことは言うまでもありません。次はという声も上がりました。初めての役員組織ですが、全員で力をあわせ住みよい佐倉染井野を目指して努力していきますので、会員皆様方も応援して頂きたいと思えます。また、ご要件がある場合には気安く役員にお声をおかけ下さいますようお願いいたします。新役員33名よろしくお願ひ致します。 役員一同





緑地ニュース

1. 共同管理班からのお知らせ（共同管理班）

1-1 2019 年度 樹木管理講習会実施のお知らせ

1. 日時: 2019 年 10 月 6 日（日）午後 2 時より 2 時間程度（雨天中止）
2. 集合: えのき公園北集会所前 午後 2 時
3. 会場: 北集会所前→染井野街区（1・2 丁目）→北集会所前
4. 内容: 講師の方々と染井野街区を歩きながら、樹木の手入れ方法・施肥の仕方・薬剤の効果的な散布等をご教授頂きます。
5. 講師: 志津ガーデン様・林農社様
当日の参加も大歓迎です。奮って参加をお願いします。

1-2 みかげ石の高圧洗浄作業について

今年度の総会で「みかげ石の汚れについて、高圧洗浄等などによる石の洗浄を共同管理作業の一環として組み入れてほしい。」という質問があった件について、委員会で検討を進めてまいりましたが、共同管理作業を行っている林農社様、志津ガーデン様において高圧洗浄などによる植栽地での洗浄作業は行っていないこと及びみかげ石が配置されていないお宅があり、費用の増加及び会員に対する公平性に欠けるなどのことから、現状では、共同管理作業としては取り扱わないこととしました。自分自身で実施するなどの対応をお願いいたします。



建築ニュース

1. 総務班から連絡事項（総務班）

1-1. 隣接地から建築協定への加入のお知らせ

隣接地となっていた 2-48-3 吉田様から、建築協定加入のご意向をいただき、佐倉市へ必要書類を提出、加入が受理されておりますのでお知らせ致します。この結果、協定加入区画は 650 区画（未販売を含む全区画は 850 区画）となります。なお、建築協定対象区域図（協定加入区画、隣接地）は、下記の佐倉市のホームページでもご覧いただけます。



2. 事前確認班から連絡事項

2-1. 建築工事の事前届出の受付状況

2019年度 S1 建築協定 届出件数工事別集計表

2019/8/13 現在

	届出 件数	新築	外壁 塗装	門扉	カー ポート	ソーラー	サン ルーム	物置	フェンス	増改築	車庫 増設
2019.4月	7		7								
2019.5月	5		4							1	
2019.6月	4		3		1						
2019.7月	4		3	1							
2019.8月	5		5								
合計	25	0	22	1	1	0	0	0	0	1	0

【丁目別工事別累計】

	届出 件数	新築	外壁 塗装	門扉	カー ポート	ソーラ ー	サンル ーム	物置	フェンス	増改築	車庫 増設
1丁目	8		7		1						
2丁目	11		10							1	
3丁目	6		5	1							
合計	25	0	22	1	1	0	0	0	0	1	0

8月13日現在で合計25件の届け出がありました。そのうち、確認手数料が発生した工事は1件でした。